

全国中国語教育協議会

ニューズレター

第14号

2000年2月24日発行

第2回全国大会(3月27日)関連のご案内

今年度前期セミナー(教員研修)の日程発表

すでに1月発行の会報号外で各位にお知らせしたとおり、来る3月27日(月)に本協議会の全国大会(研究報告会と会員総会)が開催される。会則に、隔年開催と定められているもので、会務の面では役員改選をはじめ、今後の活動に関する話し合いなど、会の発展にとって重要な1日となる。ぜひご出席を賜りたい。本号にあらためて詳細ご案内を掲げる。

会員各位のご支援でセミナーもようやく軌道に乗った。今年度は、より実地的なテーマを選び、日々の教学にも役立つ研修を計画した。日程を公表し、応募の受付を開始する。

【大会開催案内】(再録)

- 日時 2000年3月27日(月) 午前9時30分開会
場所 日本大学文理学部2号館2階222教室(東京都世田谷区桜上水3-25-40)
日程 9:30 開会式
9:40 ~12:00 研究報告(午前の部)
(1) 语音教学中应该注意的一些问题
孫玄齡氏(東京外国語大学)
(2) 中国語教育のカリキュラムと教材について
渡邊晴夫氏(國學院大学)
12:00~13:20 昼食・休憩(理事の方々はこの間に理事会)
13:20~14:30 研究報告(午後の部)
(3) 初級段階の文法ガイドライン
興水優氏(日本大学)
14:30~15:30 会員総会(会計報告・審議、役員改選、活動方針審議等)
15:30~17:00 懇親会(学内食堂チェリー)

参加費 2,000円。懇親会費 3,000円。出欠のご回答をお忘れなくお願いします。

☆大会会場への交通案内は前回の号外をご参照ください。

☆所属長への依頼状が必要な方はお手数でも事務局にご一報ください。

★研究報告要旨をp.2に掲載しました。

★会員総会の主要議事(役員改選等)はp.3を参照してください。

⇒セミナー日程はp.4に掲載しました。

事務局のご案内

156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40
日本大学文理学部中国文学研究室内
全国中国語教育協議会



全国大会 研究報告 発表要旨



(1) 孫玄齡 语音教学中应该注意的一些问题

在汉语教学中，发音教学是很重要的一部分，学生若没有一个好的发音基础，即使进入了中高级的学习阶段后，也总会带有一种欠缺感。因此，在开始学习时就能掌握正确的发音，是非常重要的。在这一点上，教师的指导是起着关键作用的。

本次报告中，对发音教学中应注意的一些问题，谈谈自己的实践经验。内容大抵如下：

- 1 如何使学生掌握汉语语音的音色，尽量理解汉语发音与母语发音的区别，自觉地在学中进行比较和避免母语发音的干扰。
- 2 出现错误的发音，大都在于没有正确掌握发音时舌头的位置及口型，对此，如何做细致的讲解。
- 3 教师如何进行发音示范，使学生提高听音的辨别能力及模仿能力。

在报告中，将以上述三点内容为主，进行论述及说明，仅供教学同仁参考并提出宝贵意见。

(2) 渡邊晴夫 中国語教育のカリキュラムと教材について

外国語教育のカリキュラムは、その目標にそくして作られるものである。中国語教育のカリキュラムを目標、構成、時間配当、教材などの諸点から考えてみたい。大学における諸種の専攻課程（例えば中国語学科、中国文学科、国際〔関係、文化〕学科など）の中国語と、一般教育の第二（未修）外国語としての中国語は、カリキュラムの構成が大きく異なる。到達目標も当然異なるはずであるが、それに留意して教材がつくられ、授業がおこなわれているだろうか。高校においても、状況は基本的に変わらないと思う。いくつかのカリキュラムの実例をもとに問題提起をしたいと考える。

(3) 輿水 優 初級段階の文法ガイドライン

いわゆる活用のある言語と異なり、中国語は文法といえるほどの文法を教室で扱わずに授業を進めることができる。かつての教室では「中国語には文法がない」などと公言された。しかし、昨今は初級の初日から文法づいている、といって過言でない。文法項目から個々の説明まで、すこしスリムにできないものか。あたかも体力のない者に必要以上の荷を背負わせ山登りを強いるのに似ている。95年秋の中国語学会で古川裕氏が文法項目についての具体的な提案をされ、99年には高校用のガイドラインが公表された。これらをふまえて、初級者のための文法を提示したい。



全国大会 会員総会 主要議題



(1) 役員改選について

本会会則第8条(役員を選出と任期)では、「会長、理事は総会において選出する」と規定している。選出方法は特に定めていないが、第1回は総会出席者による無記名投票によった。このときは準備会の段階で役員(運営委員)であった方々には理事を委嘱することが承認され、投票による選出と会長の選任による理事を置くこととなった。今回の選出方法はあらかじめ理事会で検討し、当日、総会に提出されることになるが、原案としては、前回は踏襲することになるであろう。なお、役員任期は次回総会までとなる。会長の再任は1回かぎり、理事は再任可だが就任時に満68歳を超えないこととされる。現在の役員は会長1名、代表理事3名、理事19名である。

(2) 今後の活動と将来像について

月例セミナーと夏季セミナーは軌道に乗り、順調に回を重ねている。東京での開催にかたより、地域的な不公平は否めないが、経費は独立採算制を維持して通常会費に食い込まないように配慮している。参加者がさらに増えること、実績を積み上げ、公的社会的に認知かつ評価される研修にすることが、今後の課題である。もちろんセミナー自体の充実というまでもない。総会で会員から種々の知恵をお借りしたい。

会員の研究発表の場として研究ファイルを継続的に刊行する。セミナー報告のうち、特に資料的なものは全会員に配布したい。しかし、前者は質的向上、後者はセミナー講師への原稿依頼、などの点でなお検討が求められる。経費も会費でまかないきれないわけではない。そして、これらを含め活動を維持発展させるには事務局の確立が先決である。先号の活動ニュースに、会長と島田幹事の2名だけで一切を処理している旨を述べたところ、各方面から反響があった。会員を増やしたくても、これ以上の事務は無理。事務局の問題と、そして飛躍し過ぎだが、中国語教育学会へ移行の可能性も今回の総会で、あるいは懇親会で意見を交換したい。

★★ 中国語教育・情報ファイル ★★

去る1月実施の大学入試センター試験の外国語科目関係のデータ(中間集計)は次の通りです。(外国語は200点満点)

	受験者数	平均点
英語		118.76
ドイツ語	67	141.31
フランス語	151	136.31
中国語	118	149.31

(昨年度中国語は223名、平均点152.56)

⇒⇒ 資料提供のお知らせ ⇐⇐

今年度センター試験中国語問題をご覧になりたい会員には実費でコピーを郵送いたします。本試験の問題は入手された方も多いため、下記①と②のいずれかをご指定の上、①は80円切手7枚、②は80円切手5枚を事務局にご郵送ください。3月末まで受け付けます。順次お送りいたします。

①本試験+追試験 ②追試験のみ

お申し込みは事務局(p.1に所在地掲載)まで。

2000年度セミナー(前期)のご案内

今年度も前年度と同様に、土曜日午後利用の月例セミナー(教員研修)を実施します。月例セミナーは各月第二土曜を原則としますが、今年は4月のみ1週繰り下げます。

今号では4～7月の前期セミナーのご案内をします。昨年度から新しい試みとして、講師からの一方通行を排し、出席者からも発信可能な方式をとることにしました。詳細は下記要項をご覧ください。なお、参加は会員(教歴の比較的浅い方を特に歓迎)を優先いたしますが、会員外の方々にも積極的な参加を求めたく、会員各位には周囲の方々へのPRもお願いしたいと思えます。昨年度は各回とも大きく定員割れでした。会場の提供があっても、参加が定員の70%に達しませんと維持が困難になります。

2000年度前期セミナー要項

☆各回の日程および研修テーマと講師

- (4月) 4月15日(土) ローマ字の注音表記について 日本大学 奥水優氏
【主催者からの一言】各種テキストのピンイン表記には首をかきげること多い。発音指導に欠かせぬローマ字だが、誤った発音を導くこともある。
- (5月) 5月13日(土) 初級教育 ——私のノウハウ 学習院大学(非) 西川優子氏
【主催者からの一言】日々、教室ではいろいろな問題が発生する。他の先生方はどのように解決しているのだろうか。経験と知恵をわけてほしい。
- (6月) 6月10日(土) 試験問題を採点する 東京外国語大学 平井和之氏
【主催者からの一言】現行の各種検定試験から、センターテスト、教室での試験やテストまで、出題形式・効果・評価等々、検討すべきことは山積。
- (7月) 7月8日(土) 発音と朗読クリニック(仮題) 東京外国語大学 孫玄齡氏
【主催者からの一言】孫先生の課題文を吹き込んで事前提出、セミナーでは懇切丁寧なコメントで個別に匿名指導、発音がいっぺんに上達する感じ。講師は音楽の専門家で、岩波新書《中国の音楽世界》の著者。定員20名限定。

☆時間割りと会場

各回とも研修時間は、午後1時半～4時半(1時10分受付開始)。

会場は従前通り(財)国際文化フォーラム会議室(新宿駅西口、新宿第一生命ビル26F)

☆申し込み方法 葉書に参加希望の月と、氏名・連絡先(住所)・所属・中国語教育歴をお書きの上、事務局へお送りください。定員各30(7月のみ20名)。申し込みは直ちに受付を開始します。折り返し、受講料の振込用紙と事前提出用の質問表を郵送します。受講料は1回=¥2,500、一括申し込みは2回=¥4,500、3回=6,500、4回=¥8,500です。各回ごとの申し込みは、その都度¥2,500となります。(受講料事前納入をお願いします)

☆参加者にお送りする質問表(意見表を兼ねる)は原則として半月前までに回収して、セミナーの内容に反映させます。